

事後評価表

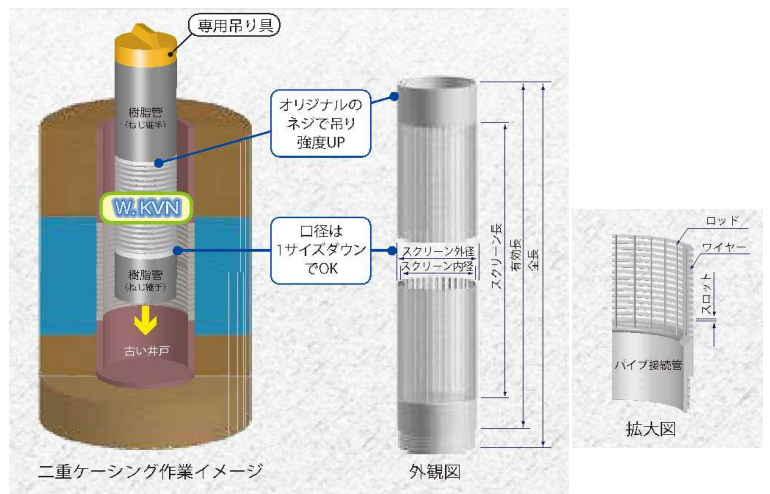
様式6-2

技術名	W.KVNストレーナ	登録 No.
		23D1009

施工内容	
施工年月	平成28年10月
追跡調査年月	平成31年1月
発注機関	上越地域整備部
工事名	(一)坂本新田新井線 県単道路融雪施設(補修)工事
施工地	上越市中郷区藤沢 地内
施工数量	1井戸(φ200×143.0m)のうち44m

新技術の概要
 ストレーナが破損した既設井戸に施工する、二重ケーシング専用オールステンレス製高性能低環境負荷型ストレーナ。オールステンレス製のため地下水への金属溶出がなく、開口率の向上により取水性能にも優れたストレーナである。

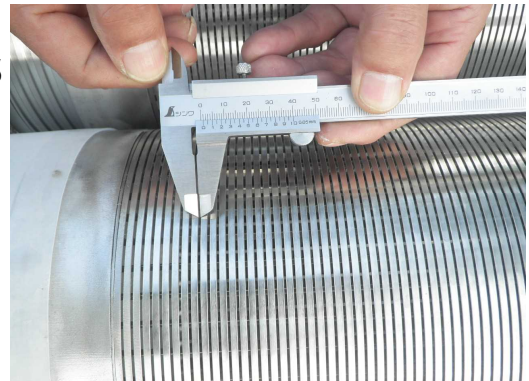
W.KVNストレーナ イメージ図



事後評価結果

比較した従来技術		二重ケーシング用強化プラスチック複合管
項目	評価	評価内容
経済性	○	ストレーナ部は割高であるが、接続するケーシング管が安価のため、経済性は向上。
工程	□	従来技術と同程度。
品質出来形	◎	施工後2年経過も良好な取水性能を維持。(本技術開発から約7年経過し、多くの実績があるが井戸が更新に至った事例はない。)
安全性	□	従来技術と同程度。
施工性	□	従来技術と同程度。
環境	□	従来技術と同程度。
事後評価	開口率が高く閉塞しにくいストレーナであり、揚砂もないため、将来に渡り維持管理の頻度減少が見込まれる。 ◎: 優れている ○: やや優れている □: 従来技術と比べて同程度 △: やや劣っている ×: 劣っている	
活用上の留意点		

ストレーナ
スクリーン部



施工状況



追跡調査



新技術問い合わせ先	
会社名	株式会社 興和
所属部課	水工部
担当者	小酒 欽弥
TEL	025-281-8816